

協会だより—0703(3月号)

《トピックス》

- ◆第50回 JSCRA会 開催
日時：3月12日(水) 集合：7:40 (INスタート8:07～)
場所：よみうりゴルフ倶楽部 5組20名参加予定
- ◆令和6年「触媒資源化実績報告書」冊子発行・配布
- ◆令和7年度 第1回 運営委員会 開催
日時：4月2日(水) 16:00～17:00
場所：石福金属興業(株) 会議室
- ◆令和7年度 第1回 役員会 開催
日時：5月13日(火) 15:00～15:45
- ◆第50期 総会・懇親会 開催
日時：5月13日(火) 16:00～17:00
場所：如水会館



- 協会からのお知らせ
- 1、トピックス
 - 2、協会創立50周年関連 新聞記事
 - 3、実施済事項
 - 4、予定事項
 - 5、その他・会員情報
 - 6、事務局より(3月度の予定)

CRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

2. 【触媒資源化協会 創立50周年関連 新聞記事】

2025年(令和7年) 2月6日(木)
 第21107号 Since1936
産業新聞
 Japan Metal Bulletin

触媒資源化協会 創立50周年

安田豊会長



触媒メーカーや貴金属・レアメタルリサイクルからなる触媒資源化協会は、本年6月に創立50周年を迎える。これに先立ち、きょう2月6日(如水会館(東京都千代田区)で記念祝賀会を開催。安田豊会長(JX金属 常務執行役員)に協会の役割や今後の展望を聞いた。

「これまでの歩みと 協会と協調して50周年歩 50周年を迎えた感想を。 んできた」

「触媒資源化協会は1975年6月に触媒工業協会(触媒研究会)が分離して創立した。そのため、触媒工業協会加盟企業の多くが当協会にも加盟している。現在も合同の研究會・講演会を開いたり、経験者が交流したりするなど、良好な関係が続いている。触媒工業

日本中心に国際循環網を

提供する機能は発揮できている。レアメタルリサイクルは「社だけで全工程、全種類の金属を回収とはならない。特に日本の湿式技術は世界的にも優れており、リサイクル工場で垂直水平分業が確立している。それぞれ得意な分野があり、特殊な金属の回収は各工程で分担している。リサイクルはネットワークが重要で、会員同士の関係性も深い」

使用実績の減少に伴い、廃触媒の資源化実績も伸びにくい状況となっている。「ただ、廃触媒はマーケットを通ずことなく直接工場からリサイクルが回収するため、クロロスドでリサイクルが成り立つ。パラジウムやロジウムなど白金族金属を回収する自動車排ガス触媒も完全に商流ができており、リサイクルを含めたサプライチェーンが成立している。回収した金属を加工し付加価値を加えて供給する動きもよい傾向を。」

「触媒はサブライヤーそのものがリサイクルを取り組んでいることも特徴。当協会と工業会の関係を含め、造る側と回収して再生する側がつながっている。動脈・静脈がうまく連携している例と

いえるだろう」

「非触媒の状況は。廃電子基板などのEPCUの洗浄由来の回収も少なくない。特に金が顕著で、回収量も23年度が43ト、22年度が40ト、21年度は17トと、右肩上がりで順調に増えている」

「貴金属価格の上昇がプラスとなっている。金価格の上昇で金のリサイクルが勢いづいて

各社の得意分野で技術を発揮

「講演会(今年)4回あり、貴金属の価格・需給動向などテーマはさまざま。最近ではオンライン配信も行っており、新入社員研修にも活用されている。工場見学や懇親を目的とした「ルーフコン」も実施している。お互いのビジネス内容を理解し、取引ネットワークとして活用し合う関係となれば、業界の発展に寄与するだろう」

「業界の長期的ビジョンを聞きたい。」

「日本には高いリサイクル技術を持つ、多くのリサイクルが存在する。これを生かし、日本をリサイクルのハブとして海外発生のリサイクル原料を持ち込み、これを製品の素材として選択する国際資源循環を構築したい」

「最後に業界メッセージを。」

「リサイクルは一つの企業だけでは成り立たない。張り巡らされたネットワークを活用し、各社がそれぞれ得意とする分野で技術を発揮して資源再生をすることが、全体のリサイクル率向上につながる」と考える」

(鈴木 大詩)

日刊産業新聞 25.2.6

2. 【実施済事項】

- ① 協会だより0702 (2月号) をHPに更新
- ② 会員専用HPの更新
令和6年2月 月次の経費明細をPDFにて公開
第261回月例会 (講演会・新年会/50周年祝賀会) 写真公開
- ③ 政府関連 (各省庁) 等からのメール、各会員会社 協会担当者へ転送
- ④ 第261回月例会 (講演会・新年会/50周年祝賀会) 開催
2月6日(木)に予定通り如水会館にて開催されました。
講演会67名、新年会/50周年祝賀会は来賓(マスコミ4社)12名、会員38社/65名(計77名)の方々が参加され盛大に開催されました。

〈講演会〉

- ・講師 : 京都大学 大学院 理学研究科
物理学・宇宙物理学専攻宇宙放射学講座 助教 山田 良透様 (ヤマダ ヨシユキ)
 - ・演題 : 「基礎科学における知見が社会にどう役立つのか？」
 - ・内容 : 基礎科学における知見が社会にどういかされているのか、
逆に実際的な要求がどう原理的な興味に結びついてきたか、
基礎科学と社会の関係について様々な例をもとに考える
- *講演前に新規入会 (賛助会員) (株)サンクトの会社紹介プレゼン実施



助教 山田 良透様



(株)サンクト 稲木光浩 氏

〈新年会/50周年祝賀会〉

- ・来賓 : 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐 山崎 将弘 様
経済産業省 製造産業局 素材産業課 無機班 係員 河原 琴子 様
一般社団法人 触媒工業協会 会長 遠藤 晋 様
一般社団法人 触媒工業協会 事務局長 伊藤 宏行 様
一般社団法人 触媒工業協会 事務員(受付手伝い) 志村 由美子 様
一般社団法人 新金属協会 専務理事 石垣 宏毅 様
京都大学大学院 理学研究科 助教 (講演会講演者) 山田 良透 様
(有)アルム出版社 吉竹 豊 様
(株)化学工業日報 小林 徹也 様
(株)産業新聞社 鈴木 大詩 様
(株)鉄鋼新聞社 相楽 孝一 様
OB 前会計 (太陽鉦工(株)) 牧 恵子 様

・式次第

								創立五十周年 記念祝賀会 式次第	
						司会 運営委員長 加藤秀雄			
	一、開会の辞	触媒資源化協会	副会長	永井俊一					
	一、挨拶	触媒資源化協会	会長	安田 豊					
	一、祝辞	経済産業省 製造産業局 素材産業課	課長補佐	山崎将弘様					
	一、祝辞	(社)触媒工業協会	会長	遠藤 晋様					
	一、祝辞	(社)新金属協会	専務理事	石垣宏毅様					
	一、懸誂	触媒資源化協会	副会長	金光重聡					
	一、中締め	触媒資源化協会	副会長	金光重聡					
		触媒資源化協会	以上						



山崎 将弘 様



遠藤 晋 様



石垣 宏毅 様



安田 会長



永井 福会長



金光 福会長



加藤 運営委員長

※写真集は会員専用HPへ掲載しましたのでご覧下さい

- ⑤ 第50回JSCRA会 開催準備・参加者募集
日 時 : 3月12日(水)
場 所 : よみうりゴルフ倶楽部
集合時間: 7:40 (INコース 10番スタートホール前)
参加予定: 20名 (5組)
- ⑤ 2024年(令和6年)触媒資源化実績データ 各会員会社より収集
データ取りまとめ, 原稿作成, 発行準備

3. 【予定事項】

- ① 協会だより—0703（3月号）の発行
- ② 会員専用HPの更新
・2月度経費内容公開 等
- ③ 政府関連（各省庁）等からのメール、各会員会社 協会担当者へ転送
- ④ 総会決議案件のメール配信・採決取りまとめ
- ⑤ 第50回JSCRA会 開催準備・実施・報告
- ⑥ 令和6年度 触媒資源化実績 冊子発行・会員への配布（郵送）
各マスコミ向けPDFデータ送付（広報委員長 宛）
- ⑦ 令和6年度の年度会計取りまとめ
- ⑧ 令和7年度一泊研修会アンケート実施・取りまとめ
- ⑨ 令和7年度 第1回運営委員会準備
- ⑩ 各種資料関係見直し、整備

4. 【その他・会員情報】

- 会員名簿登録内容変更
特になし

5. 【事務局より】

（3月予定）

出勤予定 : 4日&在宅

出勤予定日: 5日(水)、13日(木)、21日(水)、26日(水)